

## 平成 26 年度第 2 回まちづくり井戸端座談会の結果概要

日 時：平成 26 年 10 月 24 日（金）19：00 ～ 21：00

場 所：野洲市役所本館 3 階 第 1 委員会

＜参加者＞市民参加者 10 名、市長、健康福祉部、政策調整部、事務局：企画調整課

＜目的＞直近四半期の市政運営や議会で話題になった市民に関心の高いトピックスを集約して最新の状況を報告し、市民の皆さんと気軽に雑談的な雰囲気の中で意見交換をしようとするもの。

### 参加者からの主な意見

【●市民意見、○市回答】

#### テーマ 1 災害時要援護者の把握と対象者情報の共有化について

- 以前、自治会の消防訓練の際に要援護者の情報提供を自治会に問い合わせたが、自治会は対象者を把握していなかった。
- 全ての自治会が取り組んでいるものではない。この取り組みは自治会が主体となり、災害時に自ら判断できない方、支援がないと避難出来ない方への対策である。
- 昔からよく言われている「向こう 3 軒両隣」など、普段の地域での付き合いが大切である。また自主防災の取り組みも重要である。
- 本制度は万能薬ではない。水防や災害対策に対しての仕組みは機能している。本制度はそれ以外のプラスαの仕組みである。今後、こういう地道な取り組みを広げていくことが課題である。
- 県下一斉清掃が年 2 回あるが、そうした時が自治会に若い人が何人いるか把握するのに良い機会である。
- 民生委員の人数が少ないのではないか。
- 人数の問題ではなく、なり手がいるかが問題ではないか。思いがないと務まらない職務である。民生委員は国が委嘱するもので制度自体が古く、市の動きとの連携には限界がある。また本制度のすべてを民生委員に任せるべきものではない。
- 自治会で月 1 回など、ジャンルは何でもいいので集まる集会等を持つこともよいのではないか。

#### テーマ 2 地域包括支援センターの取り組み

##### ～介護予防サービスによる笑顔で暮らせるまちづくり～

- 高齢福祉課と市民生活相談課の連携はよく出来ていると思う。職員の対応にも感謝している。
- 認知症の社会的認知度がまだまだ低い。市民の理解を深め、広める事業展開をお願いしたい。

- 今日も認知症の啓発リーフレットを持参した。正しい理解と普及啓発事業をお願いしたい。
- 高齢者自身もさまざまなことを勉強していかなければならない。
- 自助・共助・その後公助となることから、行政に依頼するまでに自治会での取り組みが大切である。
- 自治会によって取り組みの温度差がある。例えば協働推進課が前に出てリードして取り組みを支援することはできないか。
- 介護保険制度が改正されるとか聞いたのですが。
- 介護保険制度の改正がH27年4月から施行され、要支援1と要支援2の方が制度から外れる。対応が国から市へ移って来る。国はボランティアの方での対応を言っているが、対応には限界がある。
- 介護保険制度自体「打ち出の小槌」か「魔法の杖」みたいに思われているが税負担でなく、基本的に保険料を徴して運営していく制度でありながら、サービスを受けるのに待機者が出ている状況である。介護サービス付き高齢者住宅など利用料が高額になると利用者が半減してしまうことも考えられる。

### テーマ3 野洲駅南口周辺整備および市立病院整備について

- 野洲駅北口の新市街化区域には土地はあるが開発計画はなく閑散としている。
- 民間の開発が期待される場所である。南口整備は市民広場を中心に病院、駐車場を先ず整備していく。本計画の後戻りはない。
- 野洲駅南口の計画は20年後を見据えた計画であることは理解したが、少子高齢化が進む中で整合がとれるのか。
- 旧の総合計画では、人口予想について5,000人多く見込んでいた。野洲市の人口が伸びない原因は、市街化区域が少ないからである。他市などは市街化の枠取りだけ取っていた経緯が見受けられる。
- 子育て世代が疎外感を感じない優しいまちづくりをしてほしい。また市民広場にはお母さん達が集まったり継続的に交流できたりできる場があるといい。
- 市民広場は高齢者や子育て世代が交流できる広場を想定している。
- 南口整備を進めればそれだけでなく渋滞があるのに、さらに交通渋滞が深刻化するのではないか。
- 駅前の交通渋滞と言うよりも国道8号の渋滞の影響が大きい。抜本的な対策として国道8号野洲栗東バイパスの整備を進めている。人間の健康と同じであり、課題解決には抜本的な対策が欠かせない。
- 野洲市有地周辺の土地利用についてはどのように考えているのか。
- 民地の土地利用については、南口周辺の整備計画が年次的に進むことにより、土地の評価額も上昇する。そこで個人や民間レベルで土地区画整理事業等や周辺土地の高度利用について検討や判断されることだと考える。行政が入り込むことではないと考えている。